



2010

2010年2月4日

JFEスチール株式会社

JFEエンジニアリング株式会社

低CO2川崎パイロットブランド'09の選定について

川崎市が本年度制定した「低CO2川崎パイロットブランド」において、JFEグループより3件が本ブランドとして選定されました。本日、とどろきアリーナ（川崎市中原区）で開催中の「川崎国際環境技術展2010」内で行われた選定結果発表会にてそれぞれに証書が授与されました。

「低CO2川崎パイロットブランド」とは、事業活動によって排出されるCO2の削減を促すことを趣旨として、川崎市内で研究開発または製造された技術・製品の中から、特にCO2排出削減に寄与するものを川崎市が選定する制度です。

JFEグループは、これからも世界最高レベルのエネルギー効率を実現し、更なる省資源・省エネルギーに資する生産プロセスや商品の開発を通じて地球環境に貢献してまいります。

<選定された技術・製品>

1. JFEスチール：低CO2プロセス『Super-SINTER™』

高炉の主原料となる焼結鉱の製造工程において、焼結機へ水素系気体燃料を吹き込む技術で、焼結プロセスにおけるエネルギー効率を高めながら高品質の焼結鉱の生産が可能となり、CO2の削減(年間約6万tのCO2削減)に繋がる技術です。

2. JFEプラリソース（JFEスチールの100%子会社）：『NFボード®』

使用済プラスチックを原料とする軽量発泡層を、高剛性表面層ではさみこむことにより、軽量化と強靭さを両立しました。ベニヤ合板製型枠と比較し繰返し使用できるため、ライフサイクル全体でCO2排出量を約45%削減(年間約5千tのCO2削減)に繋がりました。選挙用ポスター掲示板としても使用実績があります。

3. JFEエンジニアリング：水和物スラリ蓄熱空調システム『ネオホワイト™』

7℃で凍り、水の2倍の冷たさを蓄える物質（水和物スラリ）を使用することで、電力使用量を大幅に削減する省エネ空調システムです。川崎地下街アゼリアなど、国内外の大規模ビルや商業施設を中心に採用が進んでおり、アゼリアでは年間1,300トンのCO2削減に繋がりました。



左より JFEプラリソース 堀田 裕久 社長
川崎市 阿部 孝夫 市長
JFEエンジニアリング 小菅 茂義 特別技監
JFEスチール 山村 康 東日本製鉄所副所長

以上

●本件に関するお問い合わせは下記にお願い致します。

J F E スチール株式会社

総務部広報室

J F E エンジニアリング株式会
社

総務部総務室広報グルー
プ
